

第23回通常総代会 議案書

- 第1号議案 2021年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2021年度決算ならびに監査報告承認の件
- 第3号議案 2021年度損失処理案承認の件
- 第4号議案 2022年度事業計画決定の件
- 第5号議案 2022年度収支予算決定の件
- 第6号議案 定款変更承認の件
- 第7号議案 役員改選の件
- 第8号議案 2022年度役員報酬決定の件
- 第9号議案 議案決議効力発生の件
- 特別決議



和歌山高齢者生活協同組合

総代会次第

2022年6月26日（日） 和歌山県 JAビル2F

第1部 総代会

13:30~15:30

1. 議長選出
2. 資格審査委員、議事録署名人、書記選出
3. 資格審査報告
4. 開会挨拶
5. 来賓挨拶
6. 祝電披露
7. 議事審議

第1号議案	2021年度事業報告承認の件
第2号議案	2021年度決算ならびに監査報告承認の件
第3号議案	2021年度損失処理案承認の件
第4号議案	2022年度事業計画決定の件
第5号議案	2022年度収支予算決定の件
第6号議案	定款変更承認の件
第7号議案	2022年度役員報酬決定の件
第8号議案	議案決議効力発生の件
第9号議案	役員改選の件
特別決議	

8. 閉会挨拶

(総代会閉会后、第1回理事会を開催。代表理事の選定後、総代会出席者に報告)

第1号議案 2021年度事業報告承認の件

〔総論〕

コロナ禍に負けず、緊張感をもち進み続けた今年。課題に向き合い続けたからこそ強い推進力が継続された一年となりました。その結果、掲げた経営・運営目標の多くを達成、着手することができました。一方で、災害や起きてほしくない不慮の事態にたいする備えは十分でなく、組織の弱点が浮き彫りになりました。引き続き改善していく課題です。組合員活動では一部が途切れかけていましたが、運営体制の充実と情報の流通によって、元気を取り戻しはじめています。いずれの分野でも高齢協単独でなく、地域の連携先との信頼関係を構築し、一緒に取り組むことでより強固で充実したものに出来るとの確信がうまれた一年となりました。

A 事業経営・運営

- 4年連続で黒字経営が実現し、過去最多の売上高と剰余を2年連続で更新することができました。2015年以降赤字が続いていた「やまぐちおたっしゃ館・れくらん」がはじめて黒字化した年となりました。
- コロナ禍にあっても介護福祉事業を継続できる事業継続計画（BCP）を策定しました。感染対策強化のためすすめたワークショップとしての増改築が完了し、利用増が可能な環境整備、車いす対応のバリアフリー化もすすみました。
- 本部環境の改善および事業の再構築のために本部移転とケアプランセンターの新設準備をすすめました。
- 就業規則改定により変形労働時間制の導入と服務規程の整備、有給の一斉付与、慶弔休暇の導入などをおこないました。就業環境を改善するためのクラウド化とデジタル化をさらにすすめました。処遇改善が今年もすすみました。
- 現場で働く方を守るためのハラスメント対策オリジナルリーフレットを作成しました。

B 組合員活動

- まん延防止等重点措置の適用期間以外は、高齢協は組合員活動を積極的におこなうことを目指しました。コロナ感染対策の勉強会も開催しました。
- 地域活動をすすめる上で組合員、役職員による運営体制が充実しました。
- 組合員の根強い要望にこたえ、葬送の生前予約を再開し、終活講座を定期的で開催することができました。
- 組合員の生活の向上のため、お助け隊全県集会を開催することができました。
- 長年取り組めていなかった、住所不明組合員のみなし自由脱退をおこないました。

C 地域連携

- （さまざまな分野で）地域の連携、活動の連携、事業の連携がふかまり、うまれました。和歌山市北部断水の折には連携先から貴重な支援をいただきました。
- カジノの是非を問う住民投票条例の制定署名に協力することができました。
- オンライン環境をサポートし、にじいるカフェのオンライン開催に協力連携することができました。

1 事業・運営

〔1〕 経営目標の到達

	前年度実績	今年度予算	今年度実績
事業高	4億 3268万	4億 3836万 前年度比 101.3%	4億 3401万 予算比 99.0% 前年度比 100.3%
経常剰余	198万	1020万 前年度比 515.1%	2463万 予算比 241.4% 前年度比 1238.0%

(1) 4年連続黒字／2年続けた過去最多の売上・黒字の分析

- ① 改善を成し遂げた事業所の存在。現在ほぼ全てが黒字事業所に転じている。
- ② 売上規模の大きい事業所が大きく下支えに貢献している安定構造がある。
- ③ 2年続いた給与改定により、困難だった採用に光明が差し始めている。
- ④ デジタル化により業務効率がよくなり安定性が増加している。
- ⑤ 制度をいかした補助金活用（労務関係など）ができています。
- ⑥ 本部管理強化により無駄の削減がすすんでいる。

(2) コロナ禍にあっても事業継続できる体質へ

8月に複数の事業所で職員と利用者が感染し大きな緊張を強いられました。この時生じた混乱を繰り返してはならないと、厚生労働省が提唱していた事業継続計画（BCP）策定に取り組む必要に気づかされました。3か月かけて事業種別（訪問、通所、住宅、居宅）に議論し、コロナ感染があっても事業を継続するための計画書が完成しました。毎月のように濃厚接触者、感染者がありますが、各所長がBCPを基盤として落ち着いて対応をとり、感染拡大しないチェック体制と事業を継続する困難な両課題に取り組み続けました。

(3) やまぐちエリアの初の黒字化と直川エリアへの展開

2015年のやまぐちおたっしや館・れくらん建設以来、報酬改定の影響と体制不備により高齢協全体に影響を及ぼす程の赤字事業となっていました。2019年より本格的に経営改善に着手し、新所長の体制下でケアマネとの関係強化、職員ミーティングの定例実施、デイサービス営業日の増加、厨房改革（食の充実）など着実に成果をつみあげてきました。お正月にはご利用者と職員がともに新年を祝うイベントを連続で開催し、ご家族からも喜びの声をいただきました。こうした質向上の積み重ねをへて、着々とケアマネ・医療機関との連携がよくなり、利用者、家族からの信頼が増し、地域への訪問介護も実施する中で、2021年度に初の黒字化に転じることができました。最近では遠方の組合員からも問い合わせがあり、入居待ちが続く状態になっています。

さらに和歌山市直川に本部および新たな事業拠点をおくことで、本部の就労環境改善や赤字の伊都ケアプランセンター事業を引き継ぎ、必要性の高まる和歌山市北部から紀の川筋を範囲とするケアプランセンターの設置を決定し、また、やまぐちおたっしや館併設の訪問介護事業の外部設置（外部訪問の必要性）を議論しました。

（４） 経常剰余（税引き後）・累積赤字の推移

単位：千円	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
剰余・損失	3,784	▲14,466	▲12,278	▲18,723	87	7,070	1,988	22,179
累積額	2,310	389	▲12,667	▲31,390	▲31,303	▲24,252	▲22,985	▲806

※2020年は賞与引当金 1850 万円を計上したため実質剰余は 20,488

2015 年以降、債務超過となり危機的状況に陥っていました。問われたのは、現場と本部、役員との関係性でした。課題を共有し、話し合い改善方針をたて、行動にうつし、そのチェックを繰り返してきました。有識者や専門家力もお借りしました。時には痛みを伴いましたが、健全運営をめざす懸命の努力が、高齢協を守りました。2018 年から 2021 年までの 4 年を一連の取り組みとし、2021 年の累積赤字解消および過去最多剰余をもって「危機的状況からの完全脱出」を宣言し、この経験を糧として、次なる課題に挑戦する基盤がうまれました。

（５） 質的向上につながる研修

毎月 1 回全所長と本部がオンラインで年度目標実現のための話し合い（介護・福祉部会）をおこないました。また、全職員がオンラインで参加する研修や、事業所のミーティングに本部スタッフが参加し、その時々で必要な課題について（感染症対策、認知症ケア、人権擁護、制度など）学ぶ機会を企画しました。

この 2 年はオンライン研修に参加する職員も増え様々な学びの挑戦が行われました。

（６） 働く環境の改善

「選ばれる事業所」になるために、処遇改善加算と事業剰余を原資とした、給与改定準備を 2020 年に引き続きおこないました。時代の変化と制度動向をしっかりとつかむために専門家とプロジェクトを組み、数々の課題を分析し、今後あるべき姿を浮かび上げさせ具体的な処遇と経営の両立を検討しました。（取り扱ったテーマ：時代に応じたサービス規程、有給休暇の消化、過重労働の解消、給与計算実務の複雑化の解消、わかりやすい給与計算の構築、テレワーク適用や自由度のある働き方、事業所間に横たわる矛盾の是正、わかりやすい勤怠管理、など）

それらの課題を解消し、実際の事業所運営ともマッチングでき、さらに給与増額を実現するものとして変形労働時間制の導入を本格的に検討しました。

(一例) デイサービス職員 介護福祉士 ※除く：勤続給・時間外手当・通勤費等

常勤月給	2020年4月	2022年4月
基本給	165,000円	185,100円
資格手当	3,000円	15,000円
合計	168,000円	203,100円

20.8%増加

(一例) 訪問介護パート職員 介護福祉士 ※除く：時間外手当等

パート時給	2020年4月	2022年4月
身体介護	1400円	1600円
資格手当	身体介護の場合70円	100円
移動費	100円	150円

17.8%増加

(7) ハラスメント対策

安心して働くことができる職場づくりのため、役員でチームを編成し、和歌山大学の金川めぐみ教授（高齢協理事）をアドバイザーにむかえ、オリジナルリーフレット作成をおこないました。

(8) デジタル活用のさらなる充実

（昨年は事業所内のオンライン環境を整備しましたが）高機能で低価格のノートパソコンを導入し、パソコンを日常的に業務で使用する職員に、1人1台貸与しました。はじめてとなるクラウド環境を整備し（安心の国内のサーバー会社と契約）、ネットワーク環境があればいつでもどこでも同一環境で仕事ができるようになりました。

利用料金の口座引き落としできる事業所を増やし、集金に関する業務効率化をすすめました。

(9) 法人、役と職員を守る補償を導入しました

目的 (役員・法人) 過去実際に発生していたリスクを今後は保険でカバーする

(職員) 安心して働ける職場づくりの一環として上乗せ補償を導入する

種類	内容
(役員) 労働災害補償	業務中、業務外をとわず「けが」による通院、入院と、死亡・後遺障害をカバーできる補償
(職員) 労働災害補償	労災の「死亡・後遺障害・ケガ」発生時に、労災に「上乗せ」して法人が支払える補償 ※労災申請を躊躇するような軽微なケガにも補償可（受診は必要）
(法人) 使用者賠償補償	労災事故の際に、法人の安全配慮義務違反を「訴えられた」場合に、カバーできる補償
(法人) 雇用慣行賠償責任補償	不当解雇、ハラスメント等で「訴えられた」場合に、賠償金をカバーできる補償

2 組合員活動

〔1〕活動実績

名称	テーマ・内容・予定																		
人生の旅立ち応援事業 葬送の生前予約	<p>◎ 人生の旅立ち応援講座開催 「人生の終活」への関心の高まりの中で、組合員のニーズと課題に応えるための講座を開催しました。「終活」の具体的な情報提供や「お墓」「お葬式」等の専門家からのアドバイス等、ともに考え解決につながる講座は好評で継続的な企画開催が期待されています。また地域マスコミ等の広報をとおして、各会場ともに、組合員以外の参加が多くみられたのも特徴的でした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程会場</th> <th>人数</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11/27 和歌山市立中央コミュニティセンター</td> <td>20</td> <td>お葬式、お墓、終活</td> </tr> <tr> <td>11/30 ささえ愛センター</td> <td>12</td> <td>お葬式、お墓、終活</td> </tr> <tr> <td>2/19 白浜町立児童館</td> <td colspan="2">→コロナ禍のため延期</td> </tr> <tr> <td>3/26 和歌山市立中央コミュニティセンター</td> <td>7</td> <td>お墓、終活</td> </tr> <tr> <td>3/29 ささえ愛センター</td> <td>7</td> <td>お葬式、終活</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ 葬送の生前予約事業の再開 活動再開のチラシの作成と組合員ニュースに同封しました 諸事情により活動が中断していましたが、2008年に活動がスタートしたときの原点の想いを継承し、必要とされる組合員のための事業として再開することができました。すでに契約されている方々へのお手紙を送付するとともに、全組合員の皆さんに案内を送付しました。</p> <p>なお、人生の旅立ち応援講座の企画、葬送の生前予約事業再開をすすめる上で「善称寺」「公善社」の皆様にご支援ご協力をいただきました。ありがとうございました。</p>	日程会場	人数	テーマ	11/27 和歌山市立中央コミュニティセンター	20	お葬式、お墓、終活	11/30 ささえ愛センター	12	お葬式、お墓、終活	2/19 白浜町立児童館	→コロナ禍のため延期		3/26 和歌山市立中央コミュニティセンター	7	お墓、終活	3/29 ささえ愛センター	7	お葬式、終活
日程会場	人数	テーマ																	
11/27 和歌山市立中央コミュニティセンター	20	お葬式、お墓、終活																	
11/30 ささえ愛センター	12	お葬式、お墓、終活																	
2/19 白浜町立児童館	→コロナ禍のため延期																		
3/26 和歌山市立中央コミュニティセンター	7	お墓、終活																	
3/29 ささえ愛センター	7	お葬式、終活																	
組合員のためのなんでも相談電話	月1回定期開催を実施しました。																		
お助け隊	<p>お助け隊 全県集会 を開催しました</p> <p>和歌山（田村グループ） 449件 1847時間 和歌山（令和グループ） 74件 1573時間 和歌山（女性部結い） 475件 2119時間 御坊（役立ち隊） 92件 290.5時間 伊都・橋本お助け隊 約20件 719時間</p> <p>合計 1110件 6548.5時間</p>																		
パソコンサークル（和歌山市）	紀和庵パソコン教室にて、月、金の定期開催を継続しました。																		

パンダカフェ（白浜町）	着手できず
どこ竹わかやま	着手できず
白浜支部設立準備会	着手できず

〔2〕～高齢者拠点活動～ コロナ感染拡大防止のため活動休止期間＜4～6月、9～10月、2月＞

2021年4月～2022年3月

	運営体制	活動内容	実績
和我楽の家（紀の川市）	本部 相談従事者 中谷典子 （やまぐち・れくらん所長） イベントチラシ発行	・わがらカフェ みんなで唄う会 落語 手品 傘踊りと銭太鼓&ビンゴ	年間6回 参加者 約99名 おもな対象エリア 紀の川市、和歌山市 東部
ささえ愛センター （和歌山市里）	月1回 ささえ愛センター 運営を考える会 （7名）	セラバンド体操（週1回） ささえ愛ピクス（月4回）健康 体操（週1回）、カラオケ （月1回）、映画上映会 （不定期）、みんなで唄う会 （隔月）	年間90回 参加者 約1200名 おもな対象エリア 和歌山市内山口地 区、岩出市、紀の川 市
	予定表発行	<会場利用> すみれの会・体操（週1 回）、らくらくピアノサークル（月 2回）、ハッピーバンド練習 （月2回） <福祉事業所とのコラボ> 一麦会むぎピースお菓子販売 に協力	
いっぷく亭～紀和庵～ （和歌山市中之島）	月1回 紀和庵会議 （3～5名） 予定表発行	ゆっくりと体操・フラダンス 歌をうたおう 楽しく頭の体操・カラオケ 名曲喫茶・紙芝居&腹話術 季節の行事 など	年間約60回 参加者 約300名 おもな対象エリア 和歌山市内東部、中 心部

〔3〕 組合員加入・出資金目標の到達

- 加入到達目標 4,452人 (+200人) ⇒ 実績 4,058人 (-274人)
- 出資金到達目標 4,553万円 (+500万円) ⇒ 実績 3,487万 (-422万円)

	前期末	当期加入者	当期脱退者	期末残高
組合員数	4,332 人	97 人	98 人	4,331 人
出資総口数	39,103 口	939 口	2941 口	37,101 口
出資金総額	39,103,000 円	939,000 円	2,941,000 円	37,101,000 円

みなし自由脱退	2021年度	年度末
脱退組合員	-272人	4,058人
減資金額	-2,218,000円	34,878,000円

定款 10 条にしたがい、組合員のみなし自由脱退手続きをおこないました。

対象：2 年間住所の変更届を行わず、住所確認が出来なかった組合員

脱退人数 272 人

出資減少額 2,218,000 円

・「みなし自由脱退者」の出資金は、2 年間は預り金として管理を行い、その間に出資金の「払戻し請求」があった時は、速やかに返還に応じます。

・「みなし自由脱退者」とされた後に、本人からの申し出等により、引き続き組合員資格を有することが確認できた組合員については、組合員資格の回復手続きを行うことができます。

定款に定めがある手続きについて、長らく点検実施されなかったことを深くお詫び申し上げます。

これより毎年、適切に点検をおこない総代会で報告をおこないます。



わがらカフェ・落語



パソコンサークル・感染症勉強会

3 地域連携

高齢協だけですべてのことは行うのは限界があります。思いを同じくする団体、法人と連携することで、より効果的な事業活動が可能になるだけでなく、高齢協の存在をひろくご理解いただくことで高齢協の運動がひろがります。災害時や緊急時にもこの関係は相互にいかされます。

高齢協のめざす「人生の完成期、輝いて生きる」を実現するためには、多くの分野で地域連携は欠かせないものだとして認識を新たにしました。

(1) 今年、特に連携が深まった団体ならびに新たに連携が生まれた団体

和歌山県ホームヘルパー協会	ハラスメント対策リーフレットに「相談窓口」として記載
和歌山共同作業所連絡会・加盟作業所	和歌山北部断水時にワークショップとしてへ給水、募金提供
カジノ誘致の是非を問う和歌山市民の会	住民投票の実施を求める請願署名
一般社団法人和歌山県セルフセンター	作業所製品および地域名産品の試食体験&カタログ販売「わっくる」の企画提供
社会福祉法人一麦会 むぎピース	ささえ愛センターで菓子販売、和歌山市三沢町の活動拠点提供
紀州リハビリテーション訪問看護ステーション	和歌山北部断水時にやまぐちおたっしゃ館へ給水タンク、電動ホースなどの資機材提供
公善社	葬儀の生前予約再開相談、提携料金プランの策定、人生の旅立ち応援講座の講師（平尾靖仁 主任）
善称寺	人生の旅立ち応援講座の講師（宇治田真宣 住職）
水城会計事務所	就業規則改定プロジェクトメンバー、全職員研修時の講師（水城実代表）

など

(2) 実行委員会としての活動

<p>にじいろカフェ実行委員会◆毎月のにじいろカフェのオンライン開催に取り組みました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会に役職員2人が参加。および、ささえ愛センターを ZOOM 参加体験会場として提供しました。にじいろカフェの取り組みは、認知症介護研究・研修仙台センター主催の認知症カフェセミナー2022 で、全国の認知症カフェの実践事例の1つとして取り上げられました。認知症カフェモデレーターの小田千恵（おたっしゃ倶楽部和歌山ケアプランセンター所長）がオンラインで登壇しました。 ・実行委員は、和歌山市地域包括支援センター川永、山口地区社会福祉協議会、山口地区民生委員協議会、社会福祉法人喜成会、株式会社ヤマシタ、紀伊地区住民などのメンバーです。
--

<p>和歌山高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会◆2021年12月4日にオンラインでの講習会を開催しました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会に役職員2人が参加。および、ささえ愛センターを ZOOM 会場として提供しました。 ・10回目の開催となる今回のテーマは「高次脳機能障害のある方の社会的行動障害について」。講師に渡邊 修氏

(東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科教授) をむかえて、オンラインで開催しました。昨年につき100人を超える参加者がありました。知られていない高次脳機能障害・中途障害の課題をひろく知ってもらう運動を、させました。

・実行委員は団体として、ワークショップフラット、ワークショップてとて、高次脳機能障害家族会 和らぎ／和らぎ紀南、和歌山県高次脳機能障害支援拠点機関など。個人としては医師、大学教員、リハビリテーション職、福祉職のメンバーです。

わいわいファーム◆代表 内海洋一 氏 (高齢協総代)

・白浜町での農業を通じて地域の活性化を図る「わいわいファーム」の理念に賛同し役員、組合員が参加しました。ボランティアで草刈りなどに参加協力をおこない、耕作放棄地を活用し、イタドリやニンニクなどを栽培してから、加工販売し6次産業の取り組みを進めました。

(3) 加盟団体としての活動

和歌山県高齢期運動連絡会	コロナ禍の中、活動は自粛しました。定期役員会に参加しました。
和歌山市高運期運動連絡会	コロナ禍の中、活動は自粛しました。定期役員会に参加しました。
きょうされん・わされん (和歌山県共同作業所連絡会)	横手所長がわされん会議に出席。作業所支援のための共同購入 (手延べそうめん) の取り組み。第45次国会請願書名へ取り組みました。
和歌山県生活協同組合連合会	企画委員会に小長谷理事が出席。役職員研修会など、年間を通じた研修企画に参加しました。
日本高齢者生活協同組合連合会	理事会・あり方委員会・情報共有部会に内田専務が出席。 ケアカフェ (訪問介護編、ケアマネ編、通所編) に所長職員が参加。根ほり葉ほり聞く会、地域づくり活動交流会に組合員がオンラインで参加しました。

(4) ネットワークづくり

小規模作業所の将来を考える会◆事務局 山本功 氏 (ワークショップフラット施設長／高齢協理事)

・制度の行方、人的課題を考えると、将来像が見通せない情勢。小規模作業所の多くは事務作業を負担に感じている共通の課題があります。2020年より同様の悩みをもつ施設長が集まり、ゆるやかなネットワークを構築しました。21年は共同研修の開催や、求人の情報交換、作業所商品の販売などをおこないました。

・いこいの家共同作業所、ひまわり作業所、ひいふうみい作業所、ワークショップフラット、ソーラナ、ワークショップてとて、グループホームふるさとなど。

(5) そのほか

・ビジネスパートナーとして、司法書士、土地家屋調査士、宅地建物取引主任者、建築士・工事業者、金融機関、イラストデザイナー、マスコミ、事務機器販売会社などの方々に力強く協力いただきました。

・イベントやお祭り等の地域活動の多くがコロナ感染対策のため自粛となり、参加協力できませんでした。

・このほかに各事業所がそれぞれ構築してきた地域での大切な連携が多数あります。また、社会福祉法人一妻会、税理士法人くらしあす、をはじめ設立時から強い結びつきのある団体があります。



20周年記念書籍・執筆の金川教授



記念書籍贈呈・和歌山市高齢者運動連絡



カジノ誘致の是非を問う住民投票実施を求める・のぼりの掲示



むぎピース・ささえ愛センターでお菓子販売



わがらカフェ・銭太鼓



日本高齢者大会・オンライン参加

4 その他

1 組合の事業活動の概況に関する事項

I. 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目	主な事業品目等
福祉事業	介護保険事業（訪問介護、通所介護、居宅介護支援） 障害者総合支援事業（就労継続支援、居宅介護、同行援護、行動援護、重度訪問）

II. 事業の経過及びその成果

1 事業の経過及びその成果

- ・総事業高は 434,013 千円（前年比 100.3%、予算比 99%）、経常剰余額 24,637 千円（前年比 1238.7%、予算比 241.3%）となりました。
- ・コロナ禍においても、事業所長および現場職員の頑張りにより、前年を上回る事業高を達成し、累積赤字を大幅に圧縮することができました。今後は法人税対策が必要です。
- ・不要な支出を省きつつ、待遇改善による人件費増や、本部物件取得、てとて改修など、効果的に投資ができた一年でした。

- ・各事業の状況は以下の通りです。

（1）訪問介護

2020 年度に「わかやま訪問」から切り分けた「やまぐち訪問」が順調に売り上げを伸ばし、やまぐちおたっしや館が開設から 6 年目にしてようやく黒字になりました。

（2）通所介護

4 月の報酬改定によるマイナスの影響を心配しましたが、積極的な事業所運営により前年度を上回る実績をだすことができました。

（3）居宅介護支援

夏に白浜ケアプランで 2 名増員し、部門別の年間事業高は前年度比 110%を達成。今後も担当件数を増やしていきたいと思います。

（4）障害者就労継続支援

今年度は医療連携加算をしなかったため、事業高が大きく下がりましたが、その分の委託費も減少。事業所の増改築も行い、利用者を増やしていきます。

2 重要課題

- ・やまぐちおたっしや館建設や白浜ぬくもりの里の取得時に発行した「組合債権」の満期が続々と迎え、剰余は大きくできてきているものの、組合債権の返済が続くため手元資金は潤沢にあるとは言えません。事業所では人手不足が続いており、待遇改善を進めながら資金繰りを注視してまいります。

① 直前3事業年度の財産及び損益の状況 (単位：円)

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
組合員数	4,163人	4,259人	4,332人	4,059人
出資金額	38,869,000	39,533,000	39,103,000	34,883,000
福祉事業収入	377,438,806	391,035,540	405,682,413	404,878,321
その他事業収入	25,831,947	26,334,737	27,003,396	28,774,559
経常剰余額	842,274	7,773,896	1,988,944	24,637,004
総資産	305,202,243	317,435,530	313,520,929	342,816,087
純資産	7,565,374	15,280,770	16,117,214	34,076,818

② 福祉事業の状況

(i) 福祉事業収入の状況 (単位：円)

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
介護保険事業	295,609,271	295,335,672	301,433,379	313,846,410
介護保険事業以外の事業 (障害者総合支援事業)	81,829,535	95,699,868	104,249,034	91,031,911
合計	377,438,806	391,035,540	405,682,413	404,878,321

(ii) 福祉事業収入の事業所別内訳 (単位：円)

事業所の名称	福祉事業収入	事業所の名称	福祉事業収入
わかやま訪問介護事業所	69,518,925	和歌山ケアプランセンター	39,713,376
伊都・橋本事業所	37,650,875	伊都・橋本ケアプランセンター	3,019,245
御坊・日高事業所	44,987,956	白浜ケアプランセンター	20,802,610
田辺事業所	52,413,970	白浜ぬくもりの里	55,645,419
やまぐち訪問介護事業所	17,806,509	れくらん	35,223,298
ワークショップてとて	28,096,138	合計	404,878,321

家賃や食費などを除いた金額

(iii) 福祉事業状況表

種類	項目	利用高 (単位：千円)		
		2020年度	2021年度	前年度比
介護保険事業	居宅介護支援	57,780	63,535	110%
	訪問介護	155,103	159,442	103%
	通所介護	88,550	90,868	102%
介護保険以外の事業	障害者自立支援	104,249	91,031	87.3%
合計		405,682	404,876	99%

Ⅲ. 増資 及び 資金の借り入れ、その他の資金調達状況

資金調達内訳表 (単位：円)

調達方法	金額
出資金	▲4,220,000
金融機関	7,878,187
組合員借入金	5,100,000
合計	8,758,187

Ⅳ. 教育事業等の状況 (単位：円)

項目	金額
当期に繰り越された教育事業等繰越金	0

教育事業等の使途 (単位：円)

科目	内容	金額
研修費採用費	職員教育などにかかる費用	1,299,461
地域支え合い費用	組合員活動にかかる費用	15,774,300
合計		17,073,761

2 組合の運営組織の状況に関する事項

Ⅰ. 前事業年度における総代会の開催状況

総代会開催日	2021年6月20日	
総代会日現在総代数		107人
出席総代	本人	7人
	書面	84人
	計	91人
(重要な議事、議決事項及び議決状況)		
第1号議案	2020年度 事業報告承認の件	賛成多数で承認
第2号議案	2020年度 決算ならびに監査報告承認の件	賛成多数で承認
第3号議案	2020年度 損失処理案承認の件	賛成多数で承認
第4号議案	2021年度 事業計画決定の件	賛成多数で承認
第5号議案	2021年度 収支予算決定の件	賛成多数で承認
第6号議案	2021年度 役員報酬決定の件	賛成多数で承認
第7号議案	議案決議効力発生の件	賛成多数で承認

Ⅱ. 役員に関する事項

役員一覧表

役名	氏名	略歴等
理事長 (代表理事)	田中 秀樹	現職 H26年6月就任 社会福祉法人一麦会 副理事長
副理事長	島 久美子	現職 R2年7月就任 一般社団法人共助のまちづくり協会 理事長
専務理事	内田 嘉高	現職 H30年6月就任
常務理事	畠山 穂美	現職 R2年7月就任
理事	宇治田 康司	現職 R2年7月就任 社会福祉法人いこい 副理事長
	金川 めぐみ	現職 H28年6月就任 和歌山大学 教授
	山田 三代士	現職 H14年5月就任 社会福祉法人一峰会 監事
	芝田 努	現職 H24年6月就任
	山田 俊治	現職 H28年6月就任
	北田 千恵	現職 H20年5月就任
	杉原 通男	現職 R2年7月就任
	小長谷 恭史	現職 H28年6月就任
	井上 美香	現職 H18年5月就任
	山本 功	現職 H29年6月就任
	坂口 圭子	現職 H29年6月就任
	横畑 真治	現職 H29年6月就任
	柏木 克之	現職 H29年6月就任
	安成 正美	現職 R2年7月就任
	岡 利樹	現職 R2年7月就任
牛村 優太	現職 R2年7月就任	
監事	志場 久起	現職 H28年6月就任 NPO 法人わかやま NPO センター 副理事長
	日野 のぞみ	現職 H11年12月就任
	岩橋 典久	現職 R2年7月就任

Ⅲ. 職員数及びその増減の状況

区分	前期末人数	当期末人数
常勤職員	50人	54人
パート職員	110人	102人
総数	160人	156人



和歌山市北部断水・やまぐちおたっしや館



和歌山市北部断水・やまぐちおたっしや館



和歌山市北部断水・やまぐちおたっしや館

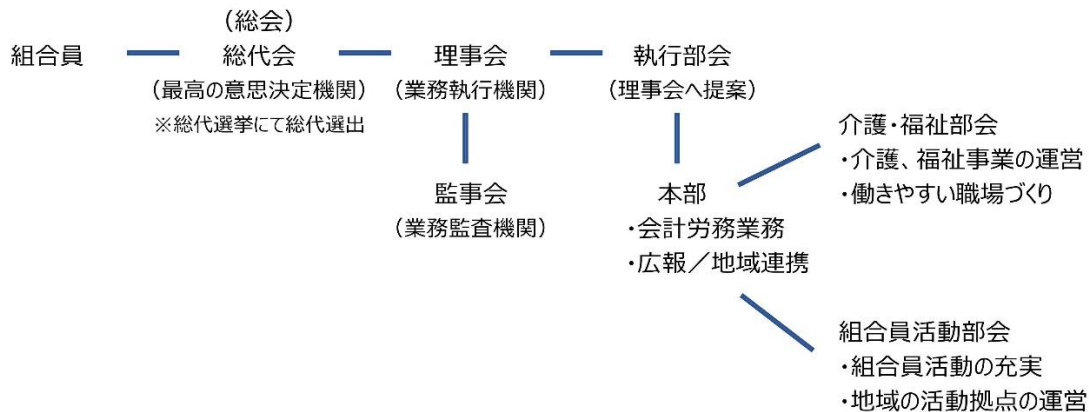


和歌山市北部断水・やまぐちおたっしや館



IV. 業務の運営の組織に関する事項

組織図
2021年



V. 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

・摘要欄の「※」印は自己所有物件（建物のみも含む）

施設名	区分	所在地	建物		摘要
			延床面積 (㎡)	事業所面積 (㎡)	
1 事務所					
本部		和歌山市直川 565-7	464	464	※
いっぶく亭 紀和庵		和歌山市中之島 782	119	119	
やまぐちささえ愛センター		和歌山市里 198-3	117	117	※
和我楽の家		紀の川市上野 299-1	90	90	
2 訪問介護事業所					
わかやま訪問介護事業所		和歌山市楠見中 240-49	62	62	
伊都・橋本事業所		橋本市高野口町伏原 243	91	91	
御坊・日高事業所		御坊市園 397-2	148	70	
田辺事業所		上富田町生馬字救馬溪 185-7	33	33	
やまぐち訪問介護事業所		和歌山市里 198-2	553.5	553.5	※
3 通所介護事業所					
白浜ぬくもりの里		白浜町才野 1322	220.2	198.5	※
れくらん		和歌山市里 198-2	148.5	148.5	※
4 居宅介護支援事業所					
和歌山ケアプランセンター		和歌山市中之島 758	20	20	
伊都・橋本ケアプランセンター		橋本市高野口町伏原 243	91	91	
白浜ケアプランセンター		白浜町才野 1322	220.2	21.7	※
5 サービス付き高齢者向け住宅					
かみとんだおたっしや館		上富田町生馬 3225-19	416	416	
やまぐちおたっしや館		和歌山市里 198-2	553.5	553.5	※
6 就労継続支援 B 型事業所					
ワークショップてとて		和歌山市里 266	93.8	93.8	※

事業報告書の付属明細書

1. 役員報酬等の状況

区分	定款上の定員（人）	支給人員（人）	支給額（円）	摘要
理事	20～30	15	14,802,000	
監事	3～5	3	108,000	
合計		18	14,910,000	

2. 役員報酬個別開示

理事長	0円
副理事長	850,000円
専務理事	6,730,000円
常務理事	6,190,000円
宇治田理事	600,000円
非常勤理事	432,000円（一人につき36,000円×12人）
理事兼務職員	0円（3人）
監事	108,000円（一人につき36,000円×3人）
合計	14,910,000円

3. 役員以外の法人等の業務執行責任者兼職状況

※事業報告書「役員一覧表」に記載



第2号議案 2021年度決算ならびに監査報告承認の件

貸借対照表 (和歌山高齢者生活協同組合 2022年3月31日現在) 単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【112,667,555】	【流動負債】	【50,213,673】
現金・預金	40,942,274	短期借入金	0
国保未収金	43,734,091	未払金	24,316,013
公費未収金	15,739,225	未払費用	978,623
個人未収金	2,473,330	未払法人税等	2,457,400
短期貸付金	1,149,866	預り金	3,794,970
仮払金	297,994	仮受金	170,367
前払費用	3,390,888	受入敷金	3,000,000
未収金	2,228,893	未払消費税	401,300
立替金	2,710,994	貸倒引当金	420,000
【固定資産】	【229,536,412】	賞与引当金	14,675,000
(有形固定資産)	(200,738,191)	【固定負債】	【258,525,596】
建物	128,829,872	借入金	170,675,596
建物附属設備	69,184,342	組合債権	87,850,000
構築物	18,530,818	負債合計	308,739,269
機械装置	22,626,664		
車両運搬具	3,260,740		
工具器具備品	16,271,494		
減価償却累計額	115,611,804	純資産の部	
土地	57,646,065	【株主資本】	【34,076,818】
(無形固定資産)	(19,482,951)	資本金	34,883,000
借地権	19,307,536	(利益剰余金)	(▲806,182)
電話加入権	175,415	その他利益剰余金	▲806,182
(投資その他の資産)	(9,315,270)	繰越利益剰余金	▲806,182
出資金	315,000	純資産合計	34,076,818
差入保証金	8,727,120		
敷金	150,000		
預託金	123,150		
【繰延資産】	【612,120】		
水道加入権	612,120		
資産合計	342,816,087	負債・純資産合計	342,816,087

損益計算書 (和歌山高齢者生活協同組合 2021年4月1日~2022年3月31日) 単位:円

福祉事業	福祉事業収入	404,878,321	
	福祉事業原価	▲332,262,294	
	福祉事業剰余		72,616,027
その他事業	家賃等	28,774,559	
事業経費	人件費	▲40,211,899	
	物件費	▲43,903,919	
事業収支			16,760,164
事業外収益	受取利息&配当金	14,999	
	雑収入	10,639,922	
	事業外収益合計		10,654,921
事業外経費	支払利息	▲2,778,078	
	固定資産廃棄損	▲3	
	事業外経費合計		▲2,778,081
経常剰余金			24,637,004
税引前当期剰余		24,637,004	
法人税等		▲2,457,400	
当期剰余金			22,179,604
前期繰越剰余		▲22,985,786	
当期末処分剰余			▲806,182

1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

1) 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産

有形固定資産の減価償却は定率法を採用。ただし、建物及び2008年4月1日以後に取得した資産については定額法を採用。現存会計は未導入。

2) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項

・消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式を採用。

2. 貸借対照表に関する注記

1) 資産にかかる減価償却累計額

・減価償却は間接法により控除。

2) 役員に対する金銭債権又は金銭債務

① 理事に対する金銭債権又は金銭債務

・金銭債務 1370万円

② 監事に対する金銭債権又は金銭債務

・金銭債務 30万円

3. 損益計算書に関する注記

法人税等

・法人税等には、法人税、住民税、地方法人特別税、事業税を含む。

4. 退職給付会計に関する注記

・職員の退職により支給する退職給付にあてるために、中小企業退職金共済制度を採用。



わがらカフェ・さくらもち



わがらカフェ・ささえ愛センター

決算関係書類の附属明細書

1. 組合員資本の明細

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
出資金	39,103,000	939,000	5,159,000	34,883,000
当期末処分剰余金	▲22,985,786	22,179,604	0	▲806,182
合計	16,117,214	231,186,604	5,159,000	34,076,818

2. 借入金の明細

1) 長期借入金等の増減

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
借入金	162,797,409	19,694,681	11,816,494	170,675,596
組合債権	82,750,000	18,000,000	12,900,000	87,850,000
合計	245,547,409	9,682,300	15,088,589	258,525,596

2) 短期借入金等の増減

(単位：円)

短期借入金	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
紀陽銀行	0	0	0	0

3. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得価額
有形固定資産	建物	78,167,034	17,324,010		7,228,945	88,262,099	40,567,773	128,829,872
	建物附属設備	32,413,126	4,026,594		4,109,094	32,330,626	36,853,716	69,184,342
	構築物	4,982,190	1,877,480		1,662,236	5,197,434	13,333,384	18,530,818
	機械装置	16,645,981			1,964,224	14,681,757	7,944,907	22,626,664
	車両運搬具	14	700,400	3	233,583	466,828	2,793,912	4,574,964
	工具器具備品	3,503,101			1,349,719	2,153,382	14,118,112	16,271,494
	土地	36,483,849	21,162,216			57,646,065	0	57,646,065
	建設仮勘定							
	計	172,195,295	45,090,700	3	16,547,801	200,738,191	115,611,804	317,664,219
無形固定資産	借地権	19,307,536				19,307,536		19,307,536
	電話加入権	175,415				175,415		175,415
	計	19,482,951				19,482,951		19,482,951

4. 関係団体等出資金の明細

(単位：円)

出資金先	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
日本高齢者生活協同組合連合会	200,000	100,000	0	300,000
和歌山県生活協同組合連合会	5,000	0	0	5,000
近畿労働金庫	10,000	0	0	10,000
合計	215,000	0	0	315,000

5. 事業経費（一般管理費）の明細

※事業経費は、本部人件費及び物件費、法人全体にかかる管理費用を指します。

(単位：円)

科目	金額	備考
1 人件費		
役員報酬	14,910,000	専務、常務、理事、監事に支給する報酬
職員給与	11,233,545	常勤職員への給与
パート給与	2,278,880	パート職員等への給与
賞与	2,068,280	職員に支給する賞与（引当金含む）
退職金	0	退職金
退職給付費用	3,642,000	中小企業退職金共済の掛金
法定福利費	5,958,697	社会保険料、労働保険料など
福利厚生費	120,497	健康診断費用、コロナ対策慶弔見舞金など
人件費合計	40,211,899	
2 物件費		
外注費	141,735	作業所などへの作業外注の費用
旅費交通費	696,618	職員の通勤交通費、出張旅費など
通信費	1,564,653	電話代、郵便代など
交際費	255,320	対外的な交渉にかかった費用
減価償却費	16,547,801	建物、車両、備品などの償却費用
リース料	6,828,246	パソコン、介護ソフト、車両のリース料
保険料	1,936,550	賠償責任保険、車両保険など
修繕費	103,000	施設や備品の修理費用など
水道光熱費	540,022	電気代、水道代など
デイ他介護費用	0	体操用具など購入費
消耗品費	2,054,938	10万円未満の物品に関する費用
租税公課	482,000	固定資産税、自動車税、印紙税、消費税など
運賃	0	メール便費用
会議費	290,643	総代会、機関会議などに関する費用
事務用品費	1,508,527	文具、用紙など事務消耗品など
広告宣伝費	71,345	広告、宣伝にかかる費用
支払手数料	3,060,127	業務委託費用、振込手数料など
諸会費	948,375	各連合会、各種団体の会費
新聞図書費	188,340	新聞代、書籍代
貸倒引当金	420,000	未収金準備費用
研修採用費	520,620	職員の研修や採用にかかる費用
車両運搬費	123,438	車両に関する燃料費、維持費など
地代・家賃	3,396,000	本部・事業所の家賃など
委託費	42,000	労務管理業務の一部委託
地域支えあい費用	2,094,745	組合員活動拠点の物品代など
水道加入権償却	71,400	
雑費	17,476	上記以外の事業に関する費用
物件費合計	43,903,919	
事業経費合計	84,115,848	

6. 事業の種類ごとの損益の明細

1) 事業別損益計算書

(単位：円)

	介護保険事業			介護保険以外	その他独自事業	合計
	訪問介護	通所介護	居宅介護支援	障害者自立支援	家賃など	
I 福祉事業収入						434,199,578
1 介護報酬収入	158,344,782	92,326,817	63,535,231			314,206,830
2 自立支援費収入				91,218,189		91,218,189
3 福祉住宅事業収入					28,774,559	28,774,559
II 福祉事業費用	121,170,087	70,651,197	48,619,028	69,802,842	22,019,139	332,262,294
1 人件費	102,293,963	59,645,009	41,045,057	58,928,813	18,588,953	280,501,795
2 物件費	18,876,124	11,006,188	7,573,972	10,874,029	3,430,187	51,760,499
福祉剰余金	37,174,695	21,675,620	14,916,203	21,415,347	6,755,420	101,937,284
III 事業経費	30,675,527	17,886,120	12,308,436	17,671,350	5,574,385	84,115,818
1 人件費	14,664,557	8,550,530	5,884,097	8,447,859	2,664,857	40,211,899
2 物件費	16,010,970	9,335,590	6,424,340	9,223,491	2,909,528	43,903,919
IV 事業外収益	3,885,658	2,265,629	1,559,105	2,238,424	706,105	10,654,921
1 受取利息など	5,470	3,189	2,195	3,151	994	14,999
2 雑収入	3,880,188	2,262,439	1,556,911	2,235,273	705,111	10,639,922
V 事業外費用	1,013,115	590,722	406,509	583,628	184,104	2,778,078
1 支払利息	1,013,115	590,722	406,509	583,628	184,104	2,778,078
2 雑損失	0	0	0	0	0	0
経常剰余金	8,984,673	5,238,734	3,605,065	5,175,829	1,632,703	24,637,004
税引前当期剰余金	8,984,673	5,238,734	3,605,065	5,175,829	1,632,703	24,637,004
法人税など	896,170	522,534	359,585	516,259	162,853	2,457,400
当期剰余金	8,088,503	4,716,200	3,245,481	4,659,570	1,469,850	22,179,604

2) 福祉事業経費明細表

(単位：円)

科目	金額	備考
1 人件費		
職員給与	139,350,150	常勤職員への給与
パート給与	85,696,871	パート職員等への給与
賞与	26,620,506	職員に支給する賞与（引当金含む）
法定福利費	27,642,858	社会保険料、労働保険料など
福利厚生費	1,191,410	健康診断費用、予防接種など
人件費合計	280,501,795	
2 物件費		
外注費	394,000	作業所などへの委託費用
旅費交通費	6,291,176	職員の通勤交通費、出張旅費など
通信費	2,174,795	電話代、郵便代など
リース料	4,129,714	パソコン、介護ソフト、車両のリース料
修繕費	1,640,426	施設や備品の修理費用など
水道光熱費	7,029,048	電気代、水道代など
デイ他介護費用	4,967,235	デイ・住宅の食事代など
消耗品費	2,278,403	10万円未満の物品に関する費用
事務用品費	1,676,492	文具、用紙など事務消耗品など
車両運搬費	2,128,695	車両に関する燃料費、維持費など
地代・家賃	12,378,300	事業所の家賃など
その他物件費	5,797,100	上記以外の事業に関する費用
物件費合計	51,760,499	
福祉事業経費合計	332,262,294	

7. その他の決算関係書類の内容を補足する重要な事項

1) 主要な資産の内容

①現金預金の明細

(単位：円)

内訳	期首残高	当期末残高	当期増減額
現金	1,576,926	2,009,060	432,134
普通預金	35,094,334	38,933,214	3,838,880
合計	36,671,260	40,942,274	4,271,014

②未収金の明細

(i) 内訳

(単位：円)

内訳	金額
国保連合会未収金	43,734,091
公費未収金	15,739,225
個人未収金	2,473,330
合計	61,946,646

(ii) 回収状況

(単位：円)

期首残高	当期発生額	当期回収額	期末残高	回収率
65,484,382	406,610,185	410,147,921	61,946,646	101%

③差入保証金の明細

(単位：円)

差入先	金額
やまぐち事業所 (山口英三)	8,000,000
その他	727,120
合計	8,727,120

④その他資産の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期末残高	当期増減額
仮払金	292,994	297,994	5,000
前払費用	3,327,836	3,390,888	63,052
未収金	2,357,055	2,228,893	▲128,162
立替金	2,680,470	2,710,994	30,524

2) 主要な負債の内容

①未払金の明細

(単位：円)

相手先	金額
給与	16,087,436
社会保険料	5,358,241
組合債未払利息	2,870,336
その他	0
合計	24,316,013

②未払い法人税等の明細 (単位：円)

内訳	金額
法人税 (均等割分)	2,457,400
合計	2,457,400

③未払い費用の明細 (単位：円)

内訳	金額
電話代、水道光熱費など	757,763
食材費	220,860
その他	0
合計	978,623

④その他負債の明細 (単位：円)

科目	期首残高	当期末残高	当期増減額
預り金	2,680,862	3,794,970	1,114,108
仮受金	170,367	170,367	0
受入敷金	2,760,000	3,000,000	240,000
貸倒引当金	0	420,000	420,000
賞与引当金	18,500,000	14,675,000	▲3,905,000

受入敷金	3,000,000	かみとんだおたっしや館敷金 120万 (12万・10名) やまぐちおたっしや館敷金 180万 (12万・15名)
------	-----------	---

3) 事業外収益の内容

雑収入の明細

(単位：円)

内訳	金額
感染症対策補助金	450,000
IT導入補助金	540,100
売電収入	1,697,061
キャリアアップ助成金、特定求職者雇用開発助成金	1,200,000
その他 (講師、成年後見等)	6,752,761
合計	10,639,922

4) 担保資産の内容

債務の明細

(単位：円)

債務先	金額	担保資産
近畿ろうきん	120,354,793	やまぐちおたっしや館・白浜ぬくもりの里
紀陽銀行	33,139,300	ワークショップてとて
日本政策金融公庫	2,739,100	太陽光発電システム (やまぐち)
ジャックス・オリコ	12,442,403	太陽光発電システム (やまぐち追加分・白浜ぬくもり)
ホップシード基金	2,000,000	新本部物件取得
合計	170,675,596	

キャッシュフロー計算書

2021年4月1日～2022年3月31日 (単位:円)

		+/-
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期剰余金	24,637,004	
減価償却費	16,619,204	+
賞与引当金の減少額	3,905,000	-
貸倒引当金の増加額	420,000	+
受取利息及び受取配当金	14,999	-
支払利息	2,778,078	+
売上債権の増加額		-
売上債権の減少額	3,537,736	+
未払金の増加額		+
未払金の減少額	831,041	-
未払消費税の増加		+
未払消費税の減少	415,600	-
その他資産の増加額	0	-
その他資産の減少額	29,586	+
その他負債の増加額	1,354,108	+
その他負債の減少額	0	-
小計	44,209,076	
利息及び配当金の受領額	14,999	+
利息の支払額	2,778,078	-
法人税等の支払額	722,500	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,723,497	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出		-
有価証券の売却による収入		+
有形固定資産の取得による支出	45,090,700	-
有形固定資産の売却による収入		+
投資その他の資産の増加による支出	119,970	-
貸付による支出		-
貸付金の回収による収入		+
投資活動によるキャッシュ・フロー	-45,210,670	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の増加による収入	939,000	+
出資金の減少による支出	5,159,000	-
短期借入金の返済による支出		-
長期借入金の借入による収入	19,694,681	+
長期借入金の返済による支出	11,816,494	-
組合債の借入による収入	18,000,000	+
組合債の返済による支出	12,900,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,758,187	
IV 現金及び現金同等物の増減額	4,271,014	
V 現金及び現金同等物の期首残高	36,671,260	
VI 現金及び現金同等物の期末残高	40,942,274	


監査報告書

2022年5月31日

和歌山高齢者生活協同組合
第23回通常総代会御中

和歌山高齢者生活協同組合

特定監事 志場 久起 

監 事 日野 のぞみ 

監 事 岩橋 典久 

I、監査の概要

私たち監事は、定款第36条にもとづき、当組合の2021年度(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の決算関連書類(貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案)、事業報告書、附属明細書、理事の業務執行状況、理事会の開催状況、及び総代会提出議案・書類について監査を行った。

II、監査結果

1、決算関連書類等について

- (1) 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当組合の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 決算関係書類及びその附属明細書は、当組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認める。
- (3) 損失処理に関する議案は、法令及び定款に適合しており、当組合の財産の状況に照らして適正であると認める。

2、理事の業務執行、理事会の開催状況について

- (1) 理事は、法令・定款・規約に従い、総代会において決定された事業計画に基づいて職務を遂行しているものと認める。
- (2) 理事会は、定期的に行われており、適正な運営がなされているものと認める。

3、総代会提出議案・書類について

総代会に提出するすべての議案・書類は、法令・定款に適合しているものと認める。

III、その他

新型コロナウイルス感染症など、厳しさを増す社会的状況に対して、役職員が力を合わせて立ち向かい、まさにチーム一丸となって運営改善・財務改善を達成したことに敬意を表します。当面の間、高齢者人口が増加すると見込まれることから、高齢協の強みをますます発揮できるよう期待しています。

以上

第3号議案 2021年度損失処理案承認の件

(単位：円)

		金額
I	当期末処理損失金 (うち、当期純剰余金)	▲806,182 (22,179,604)
II	次期繰越損失金	▲806,182



わいわいファーム・つわぶき、黒ニンニク販売



和歌山県セルフセンター・試食会



ワークショップとて・地鎮祭



ワークショップとて・増改築工事

第4号議案 2022年度事業計画承認の件

〔総論〕

今年度新設する事業の成功および、昨年おこなった本部移転や労働環境の整備などの先行投資にふさわしい事業の実現。各事業所においては、実感の伴う働きやすい職場づくりへの前進が大きな課題であり目標です。一方、組合員活動のさらなる充実に向けて、今年度は和歌山市内で新しい拠点「お茶の間★あい愛」がスタートします。また10年を迎える「紀和庵～いっぷく亭」が移転しリニューアルします。組合員活動を組合員のみならずと一緒に作り、新たな仲間をむかえられるよう高齢協の魅力をPRします。そして、事業活動の拡大充実には「組合員が大事に思えることの共有」がなによりも大切です。

A 事業経営・運営

- コロナ対策に引き続きとりくみます。様々な社会状況で生ずる物価高騰などの環境変化に対し柔軟に対応します。
- 新規事業となるケアプランセンター・福祉用具貸与事業を着実に推進するとともに、既存事業所の利用定員充足、和歌山ケアプランセンターの新しい地域づくり構想など、ワンランクアップの事業形成に皆で協力しとりくみます。
- 変形労働時間制導入のメリットを強化し、給与改定にみあう事業経営を皆の力で実現します。
- 長く働き続けたい職場づくりにむけて、昇給の仕組みを整えます。同時に職員による「職場活性化アンケート（初）」を実施します。電子機器の活用や応用をすすめ（例：貸与携帯をスマホに切り替え）働きやすい職場づくりを強化することで求人難の突破口を増やします。
- 職員向けハラスメントリーフレットを配布するとともに、働きやすい職場づくりにむけて学習の機会をつくります。
- 専門家を招き、複合的な視点で経営状態をチェックする「経営会議」を定期開催します。効果的かつ効率的な事業の実現のために、経費を網羅的にチェックする「事業活動レビュー（見直し・再検討）」を上半期に実施します。
- 2年後の2024年度に予想される厳しい報酬改定への対策を検討します。
- 数年以内に定年を迎える所長が複数名あり、スムーズな体制変更実現にむけ採用、研修環境を整えます。

B 組合員活動

- 活動名称を「高齢者総合サービス」から、より具体性のある「組合員活動」に変更します。
- 和歌山市内に組合員活動拠点を1か所新設（お茶の間★あい愛：和歌山市三沢町）、1か所リニューアル（紀和庵：和歌山市中之島）します。ほかのエリアでは、わがらカフェ（紀の川市）運営体制の充実を図るとともに、ささえ愛センター（和歌山市里）の活動をさらに充実させます。
- 高齢者のニーズに沿った各種企画（人生の旅立ち応援事業等）をとおして、組合員の学びの場、相談の場の充実をめざします
- 増資をしやすくするためなど組合員管理のスムーズな方策を検討します
- ホームページのリニューアルをおこなうなどブランド力向上にむけて、情報発信環境を整えます。

C 地域連携

- 地域の連携、活動の連携、事業の連携をいっそうすすめます。
- ウクライナ危機、平和を守る、地球規模の気候変動などに、わたしたちができることからよびかけ行動します。

1 事業・運営

【1】ワンランクアップの事業形成

(1) 新設 シニア COOP 和歌山北ケアプランセンター 4つの特徴 <6月より事業開始>

本部と同じ建物(2階)4名体制で開始。特定事業所加算Ⅱ。

- ・日本介護支援専門員協会が主催する「ワークサポートケアマネージャー養成研修」受講を検討します。
- ・商業化がすすむ直川エリアで、地域で働いている方からも、相談されやすい環境づくりをめざします。
- ・地域包括支援センターと連携し、ささえ愛センターでの介護相談会(仮)を計画します。
- ・本部におとずれる組合員活動グループと懇談をおこない、組合員のためになる情報交換をおこないます。

(2) 福祉用具貸与事業所<8月より事業開始予定>・既存事業所の利用定員充足

高齢協では、はじめてのサービス種類となる福祉用具貸与事業所を開設します。また、既存事業所においては日常的な業務改善および研修での質の向上をすすめながら、他事業所に「いまを知っていただく」ことに重点をおいた活動(例:事業所通信、介護相談会などの企画)を通して、質と量ともに利用定員充足を目指します。役職員皆で協力して、推進を応援します。

(3) 和歌山ケアプランセンター新しい地域づくり構想・改修 <和歌山市中之島 紀和駅南>

中之島付近に新しい大学ができ、学生が通学するなど人の流れに目に見えた変化がうまれています。元商店街の古い建物が事業所のため「入りにくい・ケアプランのイメージがない」というお声が以前からありました。高齢協がこの地で開設して培ってきた20数年の関係を大事にして、若者、子ども、紀和庵活動メンバーと次の世代につながっていく新しい地域づくり構想(新しい居場所・新しい情報発信の拠点)検討をすすめ紀和庵リニューアルとともに改修を計画します。

(4) 組合員にこそ介護・福祉事業を知っていただく

高齢協の介護、福祉サービスは、組合員以外の方からの相談が多い現状です。また、組合員の方も、高齢協ではなく他法人の事業所を利用するケースも少なくありません。

「いざというときに、組合員に頼りにされるためには何が必要か」。組合員に知ってもらい、気軽に相談していただけるための気づきと環境改善を介護・福祉部会で議論します。

【2】給与改定にふさわしい事業経営・選ばれる事業所を皆の力で実現

(1) 変形労働時間制の導入のメリットを強化する

4月導入の変形労働時間制。一部の職種で「働きやすくなった」という評価がありますが、まだスタートしたばかりです。労働者としての立場、シフトを組む側の立場、所長の立場、利用者や家族の目線から見た場合、経営サイド、組合員から見た場合など様々な立場の方に、よい効果を出していけるようにします。

(2) 目標面談・昇給の仕組みを整えます

2017年度に導入した目標面談・昇給については、制度運用が複雑なため、現在所長と本部のみの適用となっています。すべての常勤職員を対象とした目標面談・昇給の仕組みの再検討をおこないます。あわせて「働きやすい職場、選ばれる職場のために」全職員を対象にした「職場活性化アンケート（初）」を実施し、法人内の課題抽出をおこないます。個々の目標が、事業所の目標と重なることで、やりがいが増え経営も改善するよいサイクル運用を目指します。

(3) 電子機器の活用や応用

介護職員不足が見込まれる中、人手不足を解消するために電子機器の活用には厚労省も大きく期待しています。しかし電子機器活用が苦手な職員が多いことが業界の大きな課題となっています。高齢協では本部と事業所が連携し、魅力的な職場づくりをすすめます。

例：スマートフォンの導入。感知センサーの活用。タブレット機器の導入、給与計算の自動化など。

(4) 職員向けハラスメント対策リーフレット配布と研修

「ハラスメントはいけないこと」という認識や「なにがハラスメントにあてはまるのか」への理解を着実に広げることをめざし「対策リーフレット」を配布します。また、お互いを尊重し合える職場づくりにむけて学習機会をつくります。

【3】経営チェック体制の向上・次期報酬改定への対策検討に着手

(1) 2つのチェック導入

・前述の事業・活動により、経営変動の可能性が大きくなります。課題を先延ばしにするのではなく、専門家を招き、複合的な視点で主体的に経営状態をチェックする「経営会議」を定期開催します。

・効果的かつ効率的な事業の実現のために、経費を網羅的にチェックする「事業活動レビュー（見直し・再検討）」を上半期に実施します。具体的な成果を数字で見える化をおこないます。

(2) 事業体制の維持発展

・数年以内に定年を迎える所長が複数名います。スムーズな体制変更実現にむけ採用、研修環境を整えます。定年退職後も嘱託職員として希望する方が継続して活躍できる環境を整えます。

(3) 先行きへの対策

・コロナ対策に多額の支出を余儀なくされ2021年報酬改定を当初計画していたよりも甘くした国は、2年後の2024年度に厳しい報酬改定をおこなうと予想されます。生きのこるために、地域における介護・福祉ニーズをしっかりと捉え、将来をみすえた事業の拡大、事業の複合化などの手立てを研究検討します。和歌山県生活協同連合会、日本高齢者生活協同組合連合会と連携して有益な情報を入手します。

(4) 役員の役割分担および成果の見える化

今年改選をむかえ新しい役員体制（理事・監事）となります。事業活動を一層拡充するために、役員の役割分担を明確にし、成果の見える化にとりくみます。

【4】経営目標

- 事業高目標 4億2886万円（前年度比98.8%）
- 剰余目標 152万円（前年度比 6.1%）

・今年度計画に伴う投資費用（既存職員の人件費増額および新規採用人件費および設備投資分）で約3000万円を見込んでいます。事業推進により投資費用の早期回収および今後の売上拡大を目指します。

・事業高だけでなく、利用者数についても意識し、地域シェア率など事業の現在地を客観的につかみます。



人生の旅立ち応援講座・お葬式について



人生の旅立ち応援講座・終活について



高次脳機能障害リハビリテーション講習会



わかやま訪問介護事業所・看板設置

2 組織・運動の計画

【1】組合員活動の充実

コロナ禍の日々をとおして、「でかける場所があり、誰かとつながることがどれだけ大切か」多くの人たちが実感しました。とりわけ高齢期においては、孤独感や不安な気持ちにとらわれないためには、地域における組合員の居場所づくりはとても必要な活動です。組合員が、身近な場所で交流し余暇活動を楽しむことで健やかな日々を送り、それぞれの人生に彩りが加わることをめざします。

また、組合員の皆さんが「人生の完成期を、自分らしく輝いて生きる」ために、人生の旅立ち応援事業をよりきめ細かくとりくみます。

人生の旅立ち応援事業	<p><葬送の生前予約></p> <p>自分の希望に沿った葬儀について考えたいというニーズに応え、お葬式について情報提供や相談をしながら、希望に沿った生前予約を受け付けます。</p> <p><旅立ち応援講座> 終活アドバイザー（理事）が担当します</p> <p>① いつか訪れる人生の旅立ちにむけ、気がかりなことを解決したり、やっておけることをアドバイスし一緒に考える終活講座を企画開催します。</p> <p>② 身近な場所で少人数でも開催できる「人生の旅立ち応援出前講座」をとりくみます。</p>
組合員のためのなんでも相談電話	週1回の相談電話を実施します。
組合員のための法律相談	事前予約制で上野顧問弁護士による法律相談日をもうけます（対面）。
どこ竹わかやま	・ささえ愛センターでの活動を計画します。
お助け隊	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な全県集会を開催し、各グループの連携をふかめます。 ・「紀南お助け隊新グループ」立ち上げ準備会をおこないます。
パソコンサークル (和歌山市中之島)	・紀和庵移転にともない、活動場所を新たにします。活動継続のための資金ねん出を検討します。

～地域の拠点活動～

	めざすこと	現在の活動内容
和我楽の家 (紀の川市打田)	わがらカフェの開催。恒常的な運営体制を確立することで、地域の皆さんが参画できる内容を企画するとともに活動回数増をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> みんなで唄う会 落語、手品 傘踊りと銭太鼓&ビンゴ
	イベントチラシを発行します。	ニコニコ体操

ささえ愛センター (和歌山市里)	月 1 回開催している「ささえ愛センター運営を考 える会（7名）」を中心に、地域の皆さんが元気に なれる楽しいことを企画開催します。 また、だれでも気軽に集まり交流ができる活動とし て、月 1 回の「おしゃべりカフェ」を開催します。	セラバンド体操（週 1～2 回） ささえ 愛ビクス（月 4 回）、映画上映会 （月 1 回） みんなで唄う会（隔月） <会場利用> すみれの会・体操（週 1 回）、らくらく ピアノサークル（月 2 回）、ハッピーバ ンド練習（月 2 回）
	月 1 回の予定表を発行します。	<福祉事業所とのコラボ> 一麦会むぎピースお菓子販売に協力
いっぶく亭～紀和庵～ (和歌山市中之島)	月 1 回開催している紀和庵会議（3～5名） を中心に、地域の皆さんが元気になる楽しいこ とを企画開催します	ゆっくりと体操・フラダンス 歌をうたおう・楽しく頭の体操・カラオケ 青春喫茶・紙芝居 & 腹話術 季節の行事 など
	月 1 回の予定表を発行します。	
お茶の間★あい愛 (和歌山市三沢町)	高齢協 4 か所目の地域活動拠点としての活動 をスタートします。 地域の様々な立場の人たちと連携して、気軽に 集い交流できる場をつくれます。	～やりたい活動～ 唄う会・カンタン体操・おしゃべり会・音 読カフェなど
	月 1 回の予定表を発行します。	

【2】 組合員・出資目標

- 組合員の加入到達目標 4,158名（+100名）
- 出資金の到達目標 3,687万（+200万）

- ・事業利用者に組合加入を呼びかけるなど、生協法人としての健全経営を一層高めます。
- ・「組合員のみなし自由脱退に関する規則」を整備します。

【3】 広報

- ・通信の継続発行をおこない、高齢協を身近に感じてもらえるように情報発信をおこないます。
- ・インターネットでも高齢協を知ってもらえるよう、ホームページリニューアルやオリジナル動画の制作など、専門業者と連携して充実に努めます。

3 地域連携

【1】 平和と人権、暮らしを守る地域連携

高齢期の様々な課題や困難を解決するためには、組合員のつながりだけでなく、地域の各団体や個人の皆さんとの連携が不可欠です。これまでの実績を大切にしながら、より幅広い連携をめざします。

- ① 「高齢期運動連絡会」と連携し、社会保障および平和、暮らしに関する学びと運動を行います。高齢者宣言採択にむけて、学習と周知活動をおこないます
- ② 全日本年金者組合和歌山市支部がとりくむ「高齢者に補聴器購入補助」を求める署名活動に賛同し、活動に協力します。
- ③ にじいるカフェ実行委員会、高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会、わいわいファーム、小規模作業所の将来を考える会のメンバーとして、引き続き今年も参加協力をおこないます。

【2】 日本高齢者生活協同組合連合会、和歌山県生活協同組合連合会との連携

- (1) 研修や企画の機会を、積極的に活用します。
オンラインでは月1回以上の頻度で、研修・企画が実施されています。効果的に活用します。
- (2) 県内生協と連携をふかめます。
 - ・地域の介護、福祉に関する事業協同の検討。共同の学習会や意見交換会。
 - ・組合員の生活と暮らしをささえる活動の連携。研修企画。
 - ・役員同士の交流。相互理解を深める機会 など
- (3) 生協組織としての研究
 - ・出資、増資をより行いやすくする事務的方法
 - ・組合員福祉のために、有益なデータ活用の検討



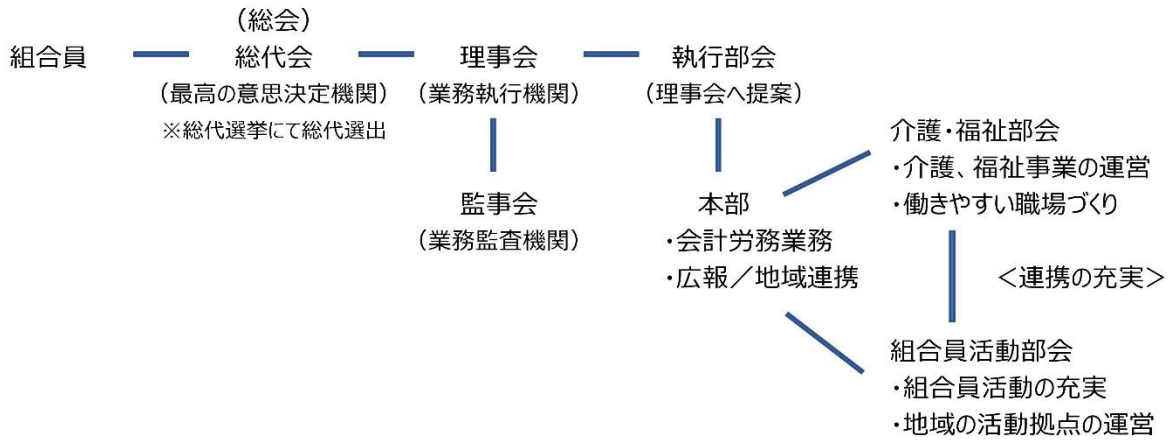
御坊・日高事業所・迎春準備



かみとんだおたっしゃ館・迎春ご挨拶

組織図

組織図
2022年



やまぐちおたっしや館・新年イベント



全職員研修「働きやすい職場ってIIでえ〜」



ささえ愛センター・前センター長退任挨拶



わがらカフェ・ニコニコ体操

やまぐちおたっしゃ館 ますます美味しくなったランチメニュー（例）



①チキンライスセット



②グラタンセット



③パスタセット



④バターカレーセット



⑤鮭のムニエルと肉じゃがセット



⑥鶏肉、ブロッコリーと和惣菜セット

第5号議案 2022年度収支予算決定の件

項目	科目	金額	(円)
	介護保険事業	289,599,950	
	障害者総合支援事業	93,800,000	
	福祉住宅事業	29,309,000	
	委託金収入	9,905,960	
	その他	6,260,000	
福祉事業収入		428,874,910	
	福祉事業人件費	278,766,916	65.0%
	福祉事業物件費	63,222,172	14.7%
福祉事業原価		341,989,088	79.7%
福祉事業剰余金		86,885,822	
	役員報酬	17,500,000	
	職員給与	12,000,000	
	パート給与	4,800,000	
	賞与	600,000	
	退職給付費用	3,600,000	
	法定福利費	6,500,000	
	福利厚生費	120,000	
人件費合計		45,120,000	10.5%
	外注費	120,000	
	旅費交通費	780,000	
	通信費	2,000,000	
	交際費	240,000	
	減価償却費	18,000,000	
	リース料	7,280,000	
	保険料	1,875,000	
	修繕費	180,000	
	水道光熱費	480,000	
	デイ他介護費用	170,000	
	消耗品費	1,200,000	
	租税公課	455,000	
	運賃	0	
	会議費	600,000	
	事務用品費	360,000	
	広告宣伝費	120,000	
	支払手数料	2,760,000	
	諸会費	1,200,000	
	新聞図書費	180,000	
	研修費採用費	60,000	
	車両運搬費	120,000	
	地代家賃	1,290,000	
	委託費	492,000	
	食材費	0	
	レク等費用	0	
	地域支え合い費用	2,200,000	
	市民農園費用	0	
	雑費	0	
物件費合計		42,162,000	9.8%
事業剰余		(396,178)	
事業外収益		6,660,000	
事業外費用		4,736,079	
経常剰余金		1,527,743	0.4%

第6号議案 定款変更承認の件

変更理由：会社法の一部を改正する法律及び会社法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴い、消費生活協同組合法の決算関係書類等の作成等にかかる規定は「法第31条の7」から「法第31条の9」へ条番号が改正されます。そのための定款変更です。

新	旧
(役員 の 責任) 第24条 1～9 (略) 10 (略) イ 理事 次に掲げる行為 <u>法第31条の9</u> 第1項及び第2項の規定により作成すべきものに記載し、(略)	(役員 の 責任) 第24条 1～9 (略) 10 (略) イ 理事 次に掲げる行為 <u>法第31条の7</u> 第1項及び第2項の規定により作成すべきものに記載し、(略)

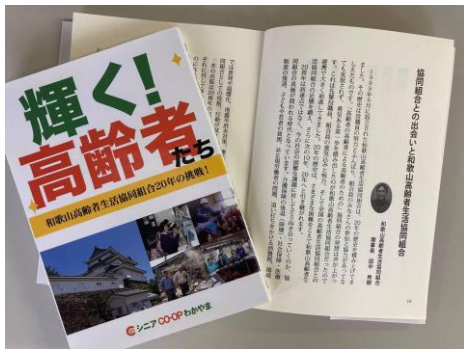
第7号議案 2022年度役員報酬決定の件

2022年度の役員報酬については、下記を総額の範囲とし、この範囲内における各役員への報酬、支給方法等については、理事会に一任します。

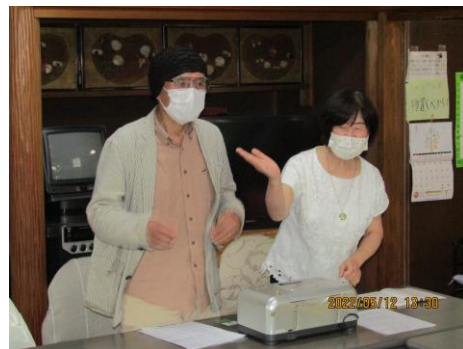
理事報酬	総額	1800万円以内
監事報酬	総額	20万円以内

第8号議案 議案決議効力発生の特

総代会において議決された事項の字句・文言について、趣旨を損なわない範囲で修正することを、理事会に一任します。



20周年記念書籍「輝く! 高齢者たち」発刊



紀和庵・小田川和彦の青春喫茶店

第9号議案 役員改選の特

立候補名簿 立候補期間終了後、当日配布となります。



ワークショップてとて・増築（左の建物）



本部移転・和歌山市直川 565-7